

令和3年度 国際製菓専門学校 「学校関係者評価報告書」

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準1 教育理念目的・育人人材像</p>	<p>(1)本校の教育目標「知(ち)・技(ぎ)・倫(りん)・汗(かん)」とその理念は、「学生生徒便覧」等に、わかりやすく、明示されている。学外へも、主にホームページ、学校パンフレットで公表している。</p> <p>(2)本校では毎年、定期的カリキュラム等を見直している。今後も「教育課程編成委員会」への諮問や、業界の動向などを見ながらカリキュラムの編成を行っていく。</p>
<p>基準1 「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <理念・目的・育人人材像> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学直後の宿泊研修(本来は例年実施)で、衝撃を受けた。根性を叩き直された。<あいさつ>などの本校の教育方針の主体を修得できた。 ・20年以上前に聴いた講演会の内容が今でも活きている。進みたい方面について徹底的に調べ、努力し、修得するという内容。 ・ニューオータニでの祝賀会(2006年)での卒業生の働きぶりを思い起こし、素晴らしい卒業生を輩出していると確信した。 ・社会人の創業支援に、学校が持つ「職業教育」の要素を活用する。 ・人間として育つきっかけ・将来へ踏む出すためのトリガーになる体験を提供する。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての土台(心構え・資質・人間性)を、引き続き育成する。なお、今年度は小平校舎で<挨拶指導>を行った。2年ぶりの実施となったが、学生の修得状況を見て、その必要性を改めて認識した。 ・創業支援や社会人の再教育などにも、教育活動の視野を広げる。
<p>基準2 学校運営</p>	<p>(1)業務運営における意思決定は、学校法人及び学校内の各会議によってなされる。最高議決機関としての「理事会」とその諮問機関である「評議員会」の位置づけや役割、機能も明確化され、事業計画に基づいた効率的な意思決定を図っている。</p> <p>(2)外部委員が中心となる「教育課程編成委員会」及び「学校関係者評価委員会」を定期的開催し、第三者からの視点による情報提供・助言も積極的に学校運営に反映させている。</p> <p>(3)学校業務分掌は、「運営組織図」に基づいている。詳細に各メンバーの職務分掌・責任を明記している。今後も定期的に点検し整備していく。</p>
<p>基準2 「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <運営方針> <事業計画> <運営組織> <人事・給与制度> <意思決定システム> <情報システム> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価にあるとおりガバナンス体制は問題はない。 ・さておき、コンプライアンス教育は改めて必要。 ・Zoom等オンラインツールの学校運営における活用状況は？ <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスを(学校当局としては)履行する側になるが、学生にはその重要性を教育していくことが同時に必要である。 ・ルールを守る(守れるように教育をすること)が大事。企業も、ルールを守れる人物かどうかを見ている。 ・引き続き、職場における「意思の疎通」を大切にする。 ・オンラインの活用については、さほど根づいていない。会議等での導入を検討する。(授業については、養成校上の制約があり、オンラインで行うことは控えている)

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p style="text-align: center;">基準3</p> <p style="text-align: center;">教育活動</p>	<p>本校の教育活動は、本校の教育理念、教育目標「知・技・倫・汗」に基づいている。</p> <p>(1) 学習指導の重点(知) ① 基礎的・基本的事項の徹底 ② 一人ひとりの生徒・学生の能力・個性を生かした授業</p> <p>(2) 実習指導の重点(技・汗) 専門技術を修得させることとともに、技術を磨くのに必要とされる「強い精神力・忍耐力・体力」も身につけさせる。また衛生管理についても徹底指導をしている。</p> <p>(3) 生活指導の重点(倫) 全教職員は共通理解のうえで一人ひとりの生徒・学生の個性・能力・適正を的確に把握した指導を行う。そのうえで、自己実現能力を修得させることを生徒・学生指導の最終目的としている。</p> <p>(4) 進路指導 就職希望者全員の要望に応えるよう懇切丁寧な指導を行う。 企業・社会からのニーズに合致した教育内容とするため、業界関係者などから意見を聴取し、カリキュラムへの反映に努めている。進学をサポートも懇切丁寧に行う。</p> <p>(5) 諸検定について(知・技) 一つでも多くの資格を取得し、社会に貢献できる人間を育成する。</p> <p>(6) 学校行事(倫・汗) 学園祭、宿泊研修、学外研修を通して生徒・学生の人間教育を行う。</p> <p>今後は、＜カリキュラム・ポリシー＞の策定も視野に入れ、より体系的・組織的な教育課程構造を持つ活動を目指す。</p> <p>【本校からの情報提供】 ・R3年度 東京都製菓衛生師試験合格状況報告:18名合格/26名受験(合格率70%) ⇒神奈川県実施回の受験を経て100%の合格を目指す。指導体制は万全を期す。 ・指導体制を再構築し＜原点に戻る＞。実習試験の出題方針と成績評価基準を見直した。生涯の宝となる「レシピ」を「実習ノート」にまとめたものを、教員が毎週チェックしている。</p>
<p style="text-align: center;">基準3</p> <p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード:＜教育内容・教育方法・評価等＞＜成績評価・単位認定等＞＜資格・免許取得の指導体制＞＜教員・教員組織＞など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「5分前の精神」を学校で修得した。世の中に出てその大切さがわかった。 ・学校で教わった「レシピ」を今でも個人として活用している。 ・「自分の言葉で書いて覚える」など良いことを身に刷り込ませるのは大切。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レシピの修得はもちろんのこと、土台となる「あたりまえができること」など、基本を見直した指導を行う。 ・人間性も含めた真のプロフェッショナルを養成する場という＜原点＞に立ち戻る。

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準4</p> <p>教育成果</p>	<p>(1)就職・進路指導に関する体制は就職担当教員を中心に、担任と連絡を密に取り合う指導体制になっており、十分機能している。本校講師として教壇に立っている製菓製パン業界の先生方のご理解もあって毎年高い就職率を誇っている。就職率向上のため、担任・教務・実習・進路指導の各職員が、多方面から指導・アドバイスを図り、学校全体で応援する環境を整えている。</p> <p>(2)進路先 mismatches を避けるため、在学中毎年12月の3週間に渡る企業研修については、時期を拡大して、8月の夏休みと3月の春休みにも行う対応をしている。枠を広げたことで12月の多忙月の研修移行がスムーズになり、又研修先を学生が探してくるなど、本人の意識向上や他学生に良い影響を与えている。</p> <p>(3)製菓衛生師の資格取得にも大変な力を注いでおり、また様々各種検定にも意欲的に参加する学生が増加。特に製菓衛生師受験は、在学中の受験については、毎年非常に高い合格実績をあげている。</p> <p>その他、退学者、退学予備軍が生じないよう、担任・副担任・教務・実習の各職員が、出席率・授業態度を共有し、絶えず学生とコミュニケーションを取り、ケースバイケースでの面談実施を計り、情報共有化のもと、保護者との密な連絡を行う等、退学率の低減に努めている。</p> <p>【本校からの情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<企業研修>夏季休業を利用し、高等課程1年生が、自主的に企業研修を行っている。(於:リポート施設)
<p>基準4</p> <p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード:<就職率、資格・免許の取得率><卒業生の社会的評価>など”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職の状況は? ・独立開業する卒業生の状況について知りたい。(創業支援事業[創業塾・資金助成]について情報提供あり) ・開業希望の後輩に、先輩がノウハウを伝授した事例の報告。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<就職>ホテル・結婚式場の分野はたしかに厳しいが、トータルとしては、決して悪いわけではない。直近卒業生についても、ほぼ全員が就職決定している。製菓・製パン分野は、「巣ごもり需要」が発生している。 ・<独立開業>卒業生への「創業支援事業」等の周知活動を行う。開業した卒業生間での「開業ノウハウ」の共有を構築する。 <p>なお、専門課程入学者は、開業希望者が多い(志望理由書による)。広義の開業相談を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用金庫、商工会からなどの金融や経営についての出前授業の活用を行う。 ・広義の定着率(独立開業含む)を数値化し、観測・分析を行う。

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準5 学生支援</p>	<p>(1) 学生相談に関しては各クラス担任及び副担任を中心に学生指導を行っており、個人面接も年間行事予定表に組み入れて実施している。また、進路指導担当の進路面接も必ず定期的に行っている。</p> <p>(2) 学生の経済的支援については、奨学金・教育ローン・学割などの利用が可能であるほか、特待生制度が設けられており、合格者には授業料全額または半額免除という減免措置を行う。また、AO入学者や指定校推薦入学者、留学生に対しての入学金減免措置等が設けられている。</p> <p>(3) 学生の健康管理面については、年度初めに校医の内科検診ほか健康診断を実施している。また、実習があるので検査機関に細菌検査を定期的に依頼している。養護教員は置いていないが、保健室があり、職員室にいる教職員全員で体調不良者やけが人の対処を行っている。学校から5分ほどのところに総合病院、また車で5分ほどのところに救急医療病院などがあり、病気やけがの状況に応じて各医療機関を利用している。</p> <p>(4) 課外活動に関しては、デコレーションの活動があり、専任教員と助手の指導のもと、長期休暇や土曜日あるいは放課後、実習室を利用しコンクール入賞を目指して前向きに活動している。</p> <p>(5) 学生の生活環境については、近隣の業者と提携し担当職員が学生寮やアパートの斡旋を行っている。</p> <p>(6) 保護者との連携は、学生の欠席の場合など担任が必ず家庭と連絡を取るようになっており、家庭との協力体制を普段から築くことにしている。</p> <p>(7) 卒業生の支援については、就職担当が転職等の相談に応じているほか、同窓会をたちあげ、情報交換の場を提供しようと動き始めている。</p>
<p>基準5 「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとする改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <学生相談> <就職等進路> <中途退学者への対応> <学生生活> <保護者との連携> <卒業生・社会人> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆるメンタルヘルス事例などの対応は? ・夜間部には、学生の世代にバリエーション(親子レベル)があった。学生間でも相談ができた。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の視点で相談を受けることが大切。知恵・意見を出し合う。一人で抱え込まない。 ・メンタルヘルスなど専門的な対応が必要な事例や、複雑な社会的バックグラウンドを伴う案件もありえる。教員も抱えこみすぎないようにする。外部カウンセラーの活用も検討する。

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準6 教育環境</p>	<p>(1)施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、より良い環境の中で教育学習を行えるように、かつ安全・快適な教育環境を提供できるように整備している。</p> <p>(2)学外実習は、就業体験を通して卒業後の進路を考える際に活かされている。</p> <p>(3)海外研修においては、海外の事情や異文化、習慣の見聞とともに体験を通して、広く国際理解や国際親善の精神の向上を図る。同時に専門技術・知識を修得できるプログラムが組まれている。これからは国際舞台で活躍するグローバルな視野をもつ人材の育成が大切である。海外インターンシップ制度に毎年度参加者がいることは嬉しい限りである。</p> <p>(4)今般、アジアからの留学生が増えている中、本校においては留学生が比較的少ない。学校生活の中でも、留学生を通して国際理解を図れることを考えると、留学生を増やす活動を考えていきたい。近年は、タイの王立学校との交流を図るプログラムを計画している(両国の学生が相互に自国食文化を紹介するなど)。さらなる友好関係を築き、タイからの本校への留学を促すことを図る。</p> <p>【本校からの情報提供】 <ヨーロッパ研修> ・なんとか実施できる可能性を見ている。学生のはほとんどは、参加希望とみられる。(ワクチン接種と帰国時の隔離などの課題はある) <アメリカ研修、タイ研修> ・今年度は断念する。</p>
<p>基準6 「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード：<施設・設備等><国際交流><学外実習><インターンシップ等><防災・安全管理>など ・海外研修については、行かせてあげたい気持ちはあるが、「無理をしない」選択肢もある。時間による解決も含め、様子を見る。</p> <p>【改善策等】 ・安全を第一に考え対応する。</p>
<p>基準7 学生の募集と受け入れ</p>	<p>(1)現在、本校にとって最も重要な問題は、少子化に伴い、入学者の減少傾向が見られることである。このための有効な対策を見出すのはなかなか難しいが、中期的な構想を実現させるために教職員が一体的な取組みを展開できるように、今後も定期的に会議を設け、発展的な意見をさらに出しあえるような組織づくりの構築を強化する。</p> <p>(2)「食」という仕事の知識と技を専門的に学べる専門学校に進みたいと希望しつつ、経済的理由から断念せざるをえない学生には、夢を叶える方法としての各種の奨学情報をPRする。</p> <p>(3)募集活動は志願者、保護者、中学・高校の先生方の考え方や動向に敏感なことが肝要である。今後も教育理念は守りつつ、志望者ニーズに柔軟に対応していく必要がある。</p>

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p style="text-align: center;">基準7</p> <p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <学生募集活動> <入学選考> <学納金> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の募集～入学を受けて、これからの展望は？ ・本校の強みである職業教育に注目し、「手に職」という側面から訴求するのはどうか。 ・通信教育科の充実を図る。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の募集活動は、現地開催を中心に行っている。(オンラインで訴求し続けるのは難しい) ・今年度は学校への訪問数も増加させている(全身体制)。学校を知っていただく活動を地道に続ける。特に、中学校では担任の先生等に直接ご対応いただき、生徒様への働きかけもしていただけている。非常にありがたい。 ・多様性を受け入れている社会に変容していく中で、新しい層(独立志向や、就業支援、趣味要素のニーズなど)を開拓していく野心を大切にす。 ・通信教育科は相対的に受講生が伸びてきている。
<p style="text-align: center;">基準8</p> <p style="text-align: center;">財務</p>	<p>学校法人全体の財務および会計処理状況の点検を行った。</p> <p>(1) 収入・支出の把握・処理は各学校、正確に行っており、計算書類も内訳表として作成しているため今後は、学校ごとに更に点検、評価をしていき、見直していきたい。</p> <p>(2) よりよい教育環境を維持していくため(整えるため)に財務分析を更に行っていく。</p> <p>(3) 社会への説明責任を果たし、質保証・向上に取り組む観点から、財務諸表について積極的な情報公開を図る。</p>
<p style="text-align: center;">基準8</p> <p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <財務基盤> <財務情報の公開> <予算・収支計画> <監査> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した基盤が必要。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とくに募集を強化し財務状況の改善をはかる。
<p style="text-align: center;">基準9</p> <p style="text-align: center;">法令等の遵守</p>	<p>(1) 常に法人事務局が監理することで、学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準、製菓衛生師法などの関連法規に準拠して運営をしている。今後は、教職員・学生等に対する啓発活動を積極的に図っていく。</p> <p>(2) 個人情報の取扱いについても、方針を記述した文章を配布してそれぞれの特性に応じて管理を厳重に行っている。今後も最新情報に対応しながら、さらに厳重管理をしていく必要がある。</p> <p>(3) 現在、製菓衛生師養成施設の学科(厚生労働省管轄)については、特別に定められた書式による自己点検・自己評価を定期的実施している。</p>

大項目	令和2年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p style="text-align: center;">基準9</p> <p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <関係法令・設置基準等の遵守> <個人情報保護> <学校評価及び教育情報の公開> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守については、全教職員が徹底して取り組む必要がある。
<p style="text-align: center;">基準10</p> <p>社会貢献・地域貢献</p>	<p>(1) 年々、地域の方々の本校に対する興味関心が高まってきており、協力依頼が増加傾向にある。本校は移転当初から立川市に根ざした製菓学校を目指しているためその期待に応えることを目指す。</p> <p>(2) 製菓学校として地元の立川市などが主催するイベントには積極的に参加し、学生も製菓指導者(マジパンなどの作品指導)として無償で協力している。市民のみなさんからの反応はおおむね好評である。</p> <p>(3) 学園祭・販売実習など本校の行事を通じて地元の人々との交流の機会も大切にしている。いずれも、近隣の住民の皆さんにはご好評をいただいている恒例行事となっている。</p> <p>(4) 今後は、地域企業自治体と連携・協同し、商品開発や地域活性等の活動に年間を通じて取り組む「産官学協同プロジェクト」も予定する。</p> <p>(5) 学校周辺での清掃活動は毎年度の検討事項であったが、今年度も実施には至らなかった。次年度はぜひ行動に移したい。</p>
<p style="text-align: center;">基準10</p> <p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか> <ボランティア活動> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街連合としても、協力したい。積極的に地域に出てきて欲しい。 ・立川ならではの素材による町おこしや、コラボレーションを行う。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの理解と協力がある学校の学校であること、またそれを地域に還元する責務があることも強く意識している。 ・地域コミュニティとのコラボレーション・商品開発を行い、win-winの関係性を築く。